

「7月11日はUDFの日」記念 プレゼントキャンペーンアンケート結果

日本介護食品協議会では、生活者の皆様にUDFを知っていただき、また実際にお試しいただける機会の創出として、ホームページ上でプレゼントキャンペーンを年に2回開催しています。1つは一昨年に本会が記念日として制定したUDFの日（7月11日）に、もう1つは介護の日（11月11日）に、それぞれおよそ1カ月間のキャンペーンとしています。これらのキャンペーンでは、毎回応募者の中から常温品100名と冷凍品30名の合計130名の方を抽選しております。

今回は、UDFの日キャンペーンで当選した方々から送っていただいた、ご試食後の感想アンケート集計結果の一部をご紹介します。

まず、応募者属性を見ると、年齢層については40代が最も多く32%、次に50代が24%、30代20%、10代と60代がそれぞれ12%でした。40～50代において意識が高く、介護の中心的な世代となっていることがうかがえます。次に応募の動機として「誰のために応募したか」では、「親」が42%と最も多く、次に「将来の自分のため」が20%、「祖父母」17%の順でした。

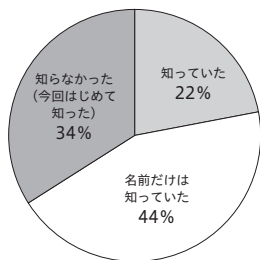
Q. UDFとは何かご存知でしたか？

この質問については、「知っていた」22%、「名前だけは知っていた」44%、「知らなかった」34%と、「名前だけ……」を含めて66%がUDFについて何らかの知見がありました。

Q. UDFをご試食されたの印象はいかがでしたか？

この質問については、「よい印象を持った」92%、「あまりいい印象はない」0%、「どちらともいえない」8%と、「よい印象を持った」方々がほとんどを占めました。これは、利用したことがない、または存在を知らなかった方々についても、一度経験いただく

ことによってその良さをご理解いただけるということです。UDFの普及啓発活動にとって、実際に食べていただくことがいかに重要であるかがあらためて示された結果といえます。また、このQの評点は、「おいしさ」



UDFとは何かご存知でしたか？

「食べやすさ」「使いやすさ」「種類が豊富」であり、特に「食べやすさ」について高くなっていました。

他にも記述式の回答で感想をいただいています。また、上記の評点の他にも、品質の高さなどから介護食品に対するネガティブな印象が変わったとの声を多くいただいています。また、売り場や試食機会の増大などのご要望も多くいただきました。

本会では、UDFを多くの方々にご周知いただけるよう、今後も積極的に情報発信を継続してまいります。

【会議、催事等の予定】

2月4日（月）新宿食支援研究会 WG（ふれあい歯科ごとう）

2月7日（木）第5回業務用 WG（本会会議室）

2月14日（木）～15日（金）JSPEN2019（グランドプリンスホテル新高輪）

2月19日（火）第6回技術委員会（オリンピックイン神田会議室）

2月20日（水）第5回普及委員会（オリンピックイン神田会議室）

2月26日（火）第5回容器包装研究会（本会会議室）

【UDF商品登録状況（2,044品目・12月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	4	12	0	91	107
冷凍食品	313	264	740	31	0	1,348
常温食品	147	135	186	120	1	589
合計	460	403	938	151	92	2,044

【会員の異動（12月）】

新規加入会員2社：尾西食品(株)、キューピータマゴ(株)

計81社（12月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>